

平成 28 年 3 月 24 日 00266 号

編集者:佐藤 壽春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

特集号

ニュースレター【武道館情報】 今週は「シリーズ北見市武道館トレーニング器具と安全使用」は、1 週お休みし、特集号として、北見市北小学校の清水俐里花(しみずりか)さんが北見市武道館にお母さんと来館した時の感想文をご紹介します。



はじめての武道館

北小学校 3 年 清水俐里花

『私は 9 月 4 日の金曜日の夕方四時ごろに、お母さんといっしょに、東りょう公園内にある、北見市武道館に、はじめて行きました。武道館の入り口の所には、黒でか書れた「武道館」というかん板があり、大きくてとても目立っていました。中に入ると、ゆか、かべなどのそざいが、木を使っていて、しぜんな感じで、きれいでした。事む室にいる館長さんが、しせつないを案内してくれました。まずいっしょに案内してくれたのは、道場です。じゅう道、合気道などができるように、たたみがしかれていました。たたみの色が、黄色いところが 2 面あり、私は、そこを走ったり、とんだりしてみました。感じよくは、やわらかくてちょうどよいかたさでした。もうひとつの道場では、けん道、少林寺けんぼうなどが出来るように、白い木のゆかでした。そして、エレベーターで二階に上がると、空手などが出来るフローリングになっていました。そこでは、館長さんが、「このドアを開けてごらん。」といったので、少しだけのぞいてみました。すると、もう一人の自分がいました。そこは、全面かがみになっていました。とてもおどろきました。ほかにも、フラダンスが出来る小さめの道場や、会ぎができるへやもありました。そして、私が一番いんしょうにのこったところは「弓道場」です。そこには、二人の女の人がれんしゅうしていました。私は、じっさいに弓をひいているところをはじめてみました。矢がまとにあたった音が、うるさかったです。そして、私は、あるへやを見つけました。そこには、いろんながらのついた弓がいっぱいならんでありました。弓の高さは、遠くから見るよりとても大きかったです。すると、館長さんが、かしだしようの弓をお母さんにわたして「ちょっとやってみて下さい。」といったので、お母さんは、弓をひいてみました。わたしは、やってみたいなあと思って弓をひいてみました。すると糸？が横にブルブルとゆれました。けっこう長い時間ゆれました。お母さんがもって私がひいていたので、けっこう重いのかなあと思いました。そして、もどろうとすると上についている赤いランプがてんめつして「トゥーントゥーン」と音になりました。そして館長さんが「これは、弓を取りにいています。あぶないので、いつ取りにいているのかがわかります。」といいました。わたしは、大人ぐらいになったら自分でもってやってみたいと思いました。はじめての武道館は、とても、しずかで、きれいで、広がったです。』

※作文「はじめての武道館」は、今年 2 月に開かれた第 8 回北見市民憲章作品コンクール小学生作文の部
で特選に選ばれ、平成 28 年 2 月 27 日北見市長より表彰を受けています。